



LS-04S

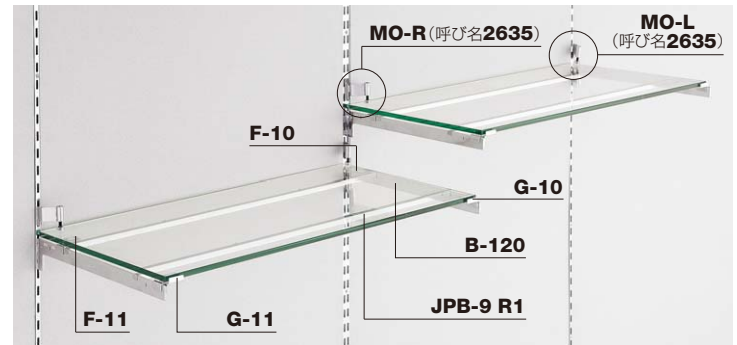
※LS-04SにはSLの使用はできません

LP-4S

リトルブラケット

品番	クローム	Aニッケルサテン	APゴールド
★LS-04S	¥260	¥370	¥390
LP-4S	¥260	¥370	¥390

★LS-04Sのみベッカーサポートの使用には適しません。青字=要納期



※上記品番は、参考選択例です。

ガラスブラケット

水平ブラケット

傾斜ブラケット

ホルダー用ブラケット

ホルダー用ブラケット

開き止めバー

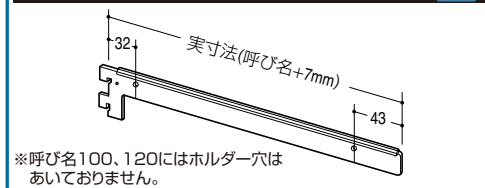
龍陳列用パーツ

セフティホルダー

ガラス棚板さえ

開き止めバー-コースト

新付加価値も追加されたR-120GHSもご検討ください → 2100



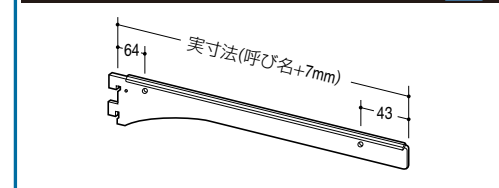
※呼び名100、120にはホルダー穴はあいておりません。

B-120 レベルブラケット

呼び名	クローム	Aニッケルサテン	APゴールド	2本当たり目安重量
100	¥250	¥350	¥380	◀JPB以外装着不可
120	¥260	¥370	¥390	◀JPB以外装着不可
150	¥290	¥410	¥440	
180	¥310	¥440	¥470	
200	¥320	¥450	¥480	
250	¥360	¥510	¥540	
270	¥380	¥540	¥570	
300	¥400	¥560	¥600	
330	¥440	¥620	¥660	ASF-1 \$1B-60/60
350	¥480	¥680	¥720	◀17kg 12kg



新付加価値も追加されたR-120GHSもご検討ください → 2100

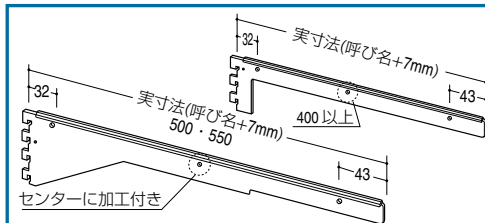


A-202 水平ブラケット

呼び名	クローム	Aニッケルサテン	APゴールド	2本当たり目安重量
100	¥310	¥440	¥470	◀F-Gホルダー装着不可
120	¥320	¥450	¥480	◀F-Gホルダー装着不可
150	¥350	¥490	¥530	◀F-Gホルダー装着不可
180	¥370	¥520	¥560	
200	¥380	¥540	¥570	
250	¥430	¥610	¥650	
270	¥440	¥620	¥660	
300	¥470	¥660	¥710	ASF-1 \$1B-60/60
330	¥500	¥700	¥750	◀24kg 15kg
350	¥550	¥770	¥830	青字=要納期



新付加価値も追加されたR-121GHSもご検討ください → 2100

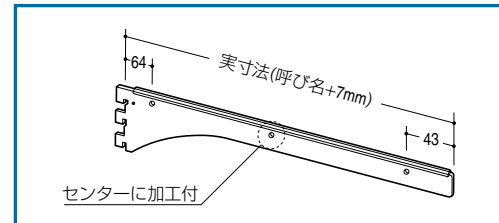


B-121 レベルブラケット

呼び名	クローム	Aニッケルサテン	APゴールド	2本当たり目安重量
300	¥510	¥720	¥770	◀31kg 28kg
330	¥560	¥790	¥840	
350	¥590	¥830	¥890	
400	¥700	¥980	¥1050	
420	¥750	¥1050	¥1150	
450	¥810	¥1150	¥1250	
◆500	¥920	¥1300	¥1400	ASF-1 \$1B-60/60
◆550	¥1050	¥1500	¥1600	◀18kg 25kg



新付加価値も追加されたR-121GHSもご検討ください → 2100



A-302 水平ブラケット

呼び名	クローム	Aニッケルサテン	APゴールド	2本当たり目安重量
400	¥740	¥1050	¥1150	◀25kg 22kg
420	¥780	¥1100	¥1200	ASF-1 \$1B-60/60
450	¥850	¥1200	¥1300	◀20kg 21kg



◆印は4ツパ形状の製品となり、LKとRKYの併用が可能です。

設計上の注意 棚受の上にガラス棚板を直接設置(外々仕様)する際は、落下事故防止のため棚受が棚板の充分内側に入る様設計段階からご注意ください。(JPBの併用をおすすめします)

設計上の注意 棚受より極端に前にはみ出す棚板は使用しないでください。後部はね上がりの原因となります。

設計上の注意 ホルダー用水平ブラケットに10mm落とし込み用ホルダー(F-30など)を装着し、内々仕様ガラス棚板構成した場合振れ止め(LK)はガラスと当たるため使用できません。

設計上の注意 24Rホルダーを使用して取り付けられたSバー(角パイプ)にフェイスアウトダブル(2350参照)を取り付けると陳列商品が落下する恐れがありますのでご注意ください。

設計上の注意 ベッカータイプサポート(1150 1200 9100参照)に装着する場合は棚受の有効寸法が短くなりますので、棚板などの実行寸法にご確認ください。

設計上の注意 左記マーク製品は振れ止め(LK)と抜け止め(RKY-RPK)を同時に使用する事はできませんので設計段階からご注意ください。

設計上の情報 水平棚にはこぼれ止め(陳列商品落下防止用パーツ)を取り付ける事ができます。(2400参照)

設計上の情報 ホルダー用多機能ブラケットによって取り付けられたSバー(SB-24・SB-32)にはフック、フェイスアウト(2800~2860)を装着する事ができます。

設計上の情報 ブラケット振れ止め(LK)や抜け止め(RKY-RPK)につきましては紙面の関係上割愛されております。(9550 9560参照)

設計上の注意 Gホルダーを棚受の先端に装着した場合、ホルダーの肉厚分(約1.4mm)有効寸法が短くなりますので、厳密な寸法で棚板を加工される際はご注意ください。

設計上の注意 開き止めバー(JPB-9)は補強効果はありません。補強効果をお求めの場合は開き止め補強バー(JPB-14またはJPB-15)をご使用ください。(9935参照)

設計上の注意 内々仕様でガラス棚板展開される場合は安全のため必ずセフティホルダー(F-10など)と開き止めバー(JPB)を併用してください。